

「平成 23 年度 給食研究会」報告書

- 【期 日】 平成 23 年 6 月 29 日（水）
【会 場】 マリトピア
【主 催】 佐賀県保育会
【参加者数】 176 名
【内 容】 平成 23 年度給食研究発表 10：30 ～ 12：00
武雄地区（武雄保育所）南部地区（久間子守保育園）
伊万里地区（立花保育園）佐賀地区（ちえんかん保育園）
講 義「食の安全」 13：00 ～ 14：30
講 師 西 福江 氏（福岡市・社会福祉法人福栄会 高取保育園 園長）

平成 23 年度給食研究発表

1. 「保育所からの発信 ～元気の源は朝ごはん～」 武雄市給食研究委員会
武雄保育所 栄養士 土井典子先生

研究のテーマ・ねらい

- ① 一日の活動の源である朝食を食べてもらい生活リズムを確立してもらう
- ② 地位の方々に保育所給食を知ってもらい、保育所を食の情報発信基地としたい

市内一斉、朝食アンケートを実施し、その結果を保護者に伝え、14 ケ園で保護者全家庭に「簡単朝食レシピ」を届ける計画をしている。平成 20 年度からの取り組みで今年度も進行中である。

2. 「一年を通して ～行事食と園での取り組み～」 南部地区 久間子守保育園
栄養士 山口 舞先生

13 ケ園で「行事食のレシピ作り」をテーマに取り組んだ。
昨年の久間子守保育園の食育活動の紹介があった。

3. 「みんなで楽しい食育」 伊万里地区 立花保育園 調理師 宮地愛子先生

食育目標

安全給食を通して、子ども一人一人が食べる喜びや食に対する興味、関心を高めながら、

健やかで丈夫な身体になるよう「生きる力」を育む

行事食の紹介

離乳食・アレルギー食・かむかむメニューの実施報告、給食便りの発行の報告があった。

4. 「つなぐ食 ～命・感謝・思いやり・自立を育む～」

佐賀地区 ちえんかん保育園 原田佳代子先生

大切にしている事

食を通して心を育てる事

皆と一緒に楽しく食べ育ち合う事

食は命の連鎖である事を伝えながら、感謝の気持ちを育む事を考えて立てた食育年間計画に基づいた取り組みの中から実践を発表

《効果及び評価》

どこの地区でも充実した研究内容で日々の保育の中に生かされているのがよく伝わってきました。

講 義

「食の安全」 西 福江氏（福岡市・社会福祉法人福栄会 高取保育園 園長）

- ・食は命であり愛情
- ・豊かな心の育ちになる
- ・命と心を育てていくのが食事
- ・医学は進んできているのに命が健やかでなくなっている
- ・日本の朝食 ごはんにみそ汁が良い（若芽が最も良い）
- ・食生活が人生を変える
- ・発酵した味噌は、体内の放射線物質を出す
- ・生きる力⇒自立できる体験をする事

高取保育園では食器洗いやクッキング、味噌作りなど食に関する体験を子どもたちがしている。特に味噌作りは毎月年長児が作る（卒園前に年長児が年中児に作り方を教えている）

- ・砂糖は使用しない
- ・子どもも職員も全員素足 ⇒ 6年間で、きれいな土踏まずが出来る。
- ・つかみ食べは絶対にさせて下さい。

・高取保育園の日常のビデオを視聴

※ いろいろな話を聞いて各園で工夫して下さい

《効果及び評価》

高取保育園の日常のビデオを見ながら説明を聞き、食を通して素晴らしい実践をされていると思いました。「こういうやり方もあるのだなあ」と思いながら、自分の園でそのままを取り入れるのではなく、今している事にプラスのヒントを頂いたと思っています。

「自分も実践してみたいな」と思っても調理に携わる先生方だけの判断で出来ない部分も多いと思いました。

「命を預かっている」この言葉の重要性と西先生が「最後まで元気に仕事をし続けたい」と言われた言葉が頭に残っています。

(文責：川上保育園 武藤眞澄)